

## この危機をチャンスに!



今回みみタロウは、サンヒルズ甲西(湖南市)で開催中の外国人のためのパソコン教室で、ITサポーターをされているグラハム山内アルフレッドさんにお話を伺いました。

2年前、会社からパソコンで管理の仕事をするように言われ、パソコンの勉強を始めました。

さらにシニア情報生活アドバイザーの資格を取得して、NPO「湖南ネットしが」のパソコン講座でお手伝いしています。パソコンはちょっと覚えればとても便利。仕事のチャンスが広がりますし、外国人市民パソコン教室\*ではテレビ電話で祖国の家族との会話を楽しむ方々も沢山おられます。

僕はまだ18歳の時にペルーから来日し、いつのまにか人生の半分をここで過ごしています。最初来たときには日本語ができず、これでは好きなこともできないと考え、集中的に日本語を勉強するため1年間帰国。再び日本に戻ってからはずっと滋賀県に住んでいます。言葉を知って日本に住むのと知らないのでは全く生活の質が違ってきます。

日本に来て、とても印象深かったことが二つあります。一つは、日本人女性が高齢になってもとても元気なこと。60歳になっても元気いっぱい重い物を運んだり、自転車をこいだりなどしてびっくりしました! もう一つは日本人、特にシニア世代が人間的にとても暖かく、外国人も自分たちの輪に入れようとしてくれること。まだ日本語ができなかった頃、職場で一人座っているとミカンやアメをもってきてくれたり、日本語を教えてくれたり、家でごちそうしてくれたり多くの優しい人たちに出会いました。そんな沢山の幸せな出会いのおかげで今の自分があると思っています。

そして今は言葉の壁も越え、地域のひと々に囲まれて幸せに暮らしています。ところが日本人と同じように暮らし始めると、以前には全く見えなかった制度の壁にぶつかるようになります。例えば e-tax。とても便利なシステムなのに、外国人は住基ネットに入れないので利用できません。本当の意味で日本社会が外国人を受け入れるためには、気持ちの面だけは不十分。制度が

整備されてようやく、外国人も日本人と同じようにのびのびと活動できるのではと思います。

今、景気の悪化で外国人にはなかなか仕事がなく、大変厳しい時期を迎えています。でも僕は、こういう時こそ落ち着いて前向きな考え方をすることが大切だと思います。残念ながら解雇になってしまったけれど、僕に元気を分けてくれたある人の言葉を紹介します。「今はこういう時期だけど、考え様によっては自分達にはいいチャンスだと思うよ。何故ってこの波が過ぎると、外国人の雇い方がちゃんとしたものになっているかもしれないから。世の中は、いい時期とつらい時期との繰り返し。だからいい時が来ると希望を持っているよ。彼は今、空いた時間に勉強したり、お金をかけず小旅行をしたりしています。今まで仕事ばかりの生活を送ってきて、日本に居ながら日本を知らなかった人、勉強したいのに出来なかった人も沢山おられると思います。こういう時はあせらず、この貴重な時間を今までできなかったことや次への準備期間に使えばどうでしょう。今、派遣会社を通さず外国人を直接雇用しようとする会社も少しずつ始めています。これは多くの会社にとって外国人にとっても初めての経験です。もし一人雇ってみて信頼関係ができると、外国人の雇用も広がるかもしれません。だから、ここに残ることを選んだ外国人は、このチャンスに応えられるよう、是非日本語を勉強したいものです。そして、もちろん地域に溶け込む努力をすることも、もっと大切になってくると思います。

私たちは日本からチャンスをもたらしてここに居ます。外国を体験する機会を得て、自分自身プラスになったことも多いでしょう。ここでのチャンスを活かすも殺すも自分次第。日本社会も僕が最初来た頃とは随分変わり、私たちの若い世代はあたりまえのようにこの社会に溶け込んで暮らしています。近くのスーパーなどで普通に働いている知り合いの子ども達を見かけると、次世代への希望を感じ、とても嬉しくなるんですよ。

\*外国人市民パソコン教室 ●日時: 第2、第4日曜日 9:30~12:00 ●場所: 湖南市市民学習交流センター(サンヒルズ甲西) 事前申し込みは不要